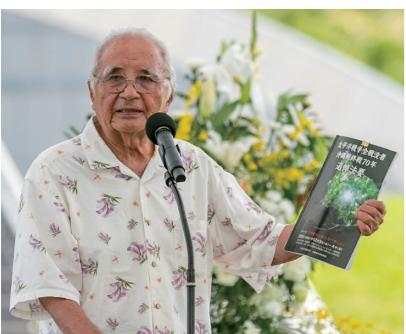




法要にご臨席されたご門主様。お言葉を述べられた

嘗平和祈念公園で、門主様のご臨席を賜り、「太平洋戦争全戦没者・沖縄戦終戦80年追悼法要」をお勤めしました。

法要に先立ち、菊城元明追悼法要実行委員長（真常寺住職）が挨拶し、園城義孝淨土真宗本願寺派総長が「戦後80年にあたつての平和を願うメッセージ」を朗読しました。さらに、沖縄戦の体験者である吉川嘉勝さんが追悼の言葉を述べました。



吉川さん。集団自決について証言し、「愚かな戦争は二度と繰り返してはならない」と強く語られた

生死を分けた母の一命を『やさ』

吉川さんは一九四五年三月二十八日に起きた渡嘉敷島とかしきじまでのいわゆる集団自決の生存者で当時六歳。戦争が激化していく中、前日に米軍が島に上陸し、防衛隊として駐留していた日本軍の命令で住民は島東部の北山にしやまに集められていました。そこで村長の「天皇陛下、万歳」の声を合図にあちこちで手榴弾が炸裂する中、吉川さんの兄が持つていた手榴弾は不発。その時、母が「死ぬしや、何時やちいんないさ。皆立て、命の宝ぬち たからやさ」（死ぬの



沖縄の子どもたちが京都の本願寺へ !!  
全国の児童と共に清掃やレクリエーションを体験し  
う日間、水族館や映画村でも夏を満喫

A group of students in traditional Japanese clothing (yukata) are performing floor cleaning (shōgi) in a traditional hall (engawa). They are kneeling on the floor, using white cloths to clean the wooden floor. The hall has a traditional tiled floor and wooden railings (engawa). The students are focused on their task, working together to clean the floor.

願寺の清掃活動やレクリエーション等を通して本願寺に親しむとともに、宗教的情操豊かな子どもに育成することを目標にした行事です。

2泊3日の、寺御影堂ごえいどうでの、の重要文化財のじゅうぶんぶつざいの、内のクイズラリードを体験しまー。その他にも、画村へ遊びに、ちは初めての、した。

京都への旅で、本願  
区域を含めた境内地  
域で、お念珠作りな  
どもたちが参加しま  
した。

た普段とは違う活動を通じて、貴重な体験ができたようです。

次回の沖縄特区から児童念佛奉仕団への参加は、2027年の予定です。お近くのお寺や布教所にて募集しますので、是非ともご参加ください。





クイズラリーでは境内のあちこちを巡った。写真は滴翠園（てきすいえん）の池に建つ国宝・飛雲閣（ひうんかく）前にて



7月4日（金）、本願寺参与会の皆さんが沖縄別院に参拝されました。沖縄別院では、今後とも皆さんのご参拝をお待ちしております。

# ハイサイ! 沖縄へようこそ



# 第45回 千鳥ヶ淵 全戦没者追悼法要

よつて作文が朗読されました。

各教区・特区の参拝者代表が尊  
前に仏華を供する献花をおこない、  
如来のみ教えとともに平和への願  
いが日本国内外に響き渡るように  
と「平和の鐘」を撞きました。

そして、宗門としての「戦後  
80年にあたつての平和を願うメツ  
セージ」を浄土真宗本願寺派園城<sub>そのき</sub>

「 い う 言 葉 を 使 つ た 会 話 が な り た ち 、 義 孝 総 長 が 読 み あ げ 、 追 悼 法 要 が 修 行 さ れ ま し た 。 雅 楽 の 音 色 が 鳴 り 響 く な か 、 各 教 区 ・ 特 区 か ら 出 勤 し た 僧侶 、 多 く の 参 拝 者 の お 念 仏 の 声 と と も に 、 法 縁 に 遇 わ れ た 方 々 の 非 戰 平 和 へ の 願 い が 広 が る 法 要 と な り ま し た 。 」

世の中は変わつていかない。おかしいものはおかしいと言わなければならぬ。違ひを認めて許しあうということがどれほど大切なことか、お釈迦さまの教えの中から学ばなければならぬ」と締めくくられました。

最後に池上智海副団長が挨拶をし、閉会となりました。



内藤師のお話を熱心に聞く参加者の皆さん



# 追悼法要

はいつでもできる。命こそ宝。立つて逃げよう」と叫んだそうです。

吉川さんは、教員として働き戦後は長く戦争体験を語らなかつ

吉川さんは、教員として働き  
て逃げよう）と叫んだそうです。

「愚かな戦争は二度と起らしてはならない」と、父が戦火に倒れた様子を語り、かくはんされた旨の記述が削除されました。ここに危機感を抱いて証言活動を始めました。その原動力は母の言葉、だつたそうです。

追悼し非戦平和を誓つ法要  
その後、中岡順忍沖縄県宗務事

務所長を導師に、沖縄県内6名の

法要には全国各地から約200人でなく日本全体の問題であることを意識してほしいという思いでした」と説明しました。



法要には全国各地からお参りがあった。  
摩文仁の丘に非戦平和を誓うお念仏が響いた

か隠された】 旨の記述が削除され

へられました